

Go-Ahead

5

10 年研 第 5 回

学校組織マネジメントについて アンケートの感想から

今回は兵庫教育大学大学院、浅野良一教授による学校組織マネジメントについての講義でした。

ありがとうございました。学校組織づくりの手の打ちどころは学級経営と似ているところが多々あるなあと感じました。チームで動いている学校は輝いていると思います。組織で動けるというのは大切ですね。がんばります。

学校組織の特徴について、企業の組織との違いを交えながら分かりやすく伝えて頂き、いかにマネジメントするのか、その手の打ちどころや考え方をとても分かりやすく解説していただきました。はじめは「学校組織」しかも「マネジメント」というと、「ピンと来ないな」という人もいたかもしれませんが、お話を聴くにつけ、その応用範囲の広さに気が付きます。人を動かすための勘所とでもいうのでしょうか。

学校の中の構造がよくわかりました。学校以外に働いたことがないため、よく世間で企業とは違うからと言われていますが、その点ピンと来なかったのが、今日先生のお話を聞かせていただき、学校と企業の組織の違いがよくわかりました。“多忙を感じているのは、学校・管理職の先生方のめざすところがよくわかっていなかったため、ということも”なるほど、”と思いながら聞かせていただきました。“たしかに、”“なるほど、”と思うことばかりで、興味深くお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

気が付けばミドル。皆さんはすでに、自分にとっても、組織にとっても、とても重要な位置にいます。学校組織の特徴はミドル層の力が伸びることだそうです。皆さんを中心とした小集団による戦略的突出が、組織を活性化します。安定しているからこそ、できるチャレンジがあるかもしれません。また、「もどかしい思い」がその原動力になるかもしれません。

自分の今の立ち位置を思い知らされた！という気持ちです。安定に流されているという実感はありますが、そこに不安定を注ぎこむ勇氣はなかったのも…。もう少し自分さがしをしたいと思います。

これまでの2校でもどかしく思うことが多かったが、どこにどう手をつけるかわからなかった。今日話を聞いて、その学校の学校目標や目指す子ども像をしっかりと理解し、そこを大切にしやすいゴールを作ることが一つの手になるなと思った。少しずつ今日話を参考にして、視野を広げたい。ありがとうございました。

目指す子ども像を共有し、風通しの良い職場で、「ワイガヤ」と創造的な仕事をする。学校教育目標や、めざす子ども像、行事の目的などは、よく、「なぜ」が抜け落ち、形だけが残っている場合がありますが、その都度、そもそもを問い直し、共有し直すことも大切です。人は納得して動く。これは開講式の鎌田先生のお話にもなります。

状況の法則。「人は人の命令では動かない。人は状況の理解・納得で動く」と言う言葉は私の中に響きました。この言葉を大切に、日々生徒、保護者、職員と接したいです。

振り返れば、長かったような、短かったようなこの 10 年。人によっては 2 校から 3 校経験し、そのなかで、組織の違いや人の違い、求められるものの違いを感じてきたことでしょう。キャリア発達理論によると、皆さんは中期キャリアにあたり、自分の専門領域の選択・開発にあたるべき時と言えます。何か教科に特化して、研究をすすめるようにと、これも開講式での言葉でした。

自分のキャリアが深耕期に入っているのだと知り、何か一つのものに特化して研究を深めていきたいなと思いました。また、退職近い先生で輝いている先生は、メンターとして周りの先生方の支援をしているというのを聞いて、本当にそうだなと思いました。私も誰かの支えになるような教員を目指したいと改めて思った研修でした。

自分のキャリアを展望し、行く末を考えるいいきっかけになったのではないのでしょうか。

「しんどい仕事は、自分を伸ばすチャンス」心に染みしました。風通しのよい職場で働けていることがあたりまえのことでないんだなあと感じ、自分の職場の風通しの良さに感謝の気持ちが深まりました。